

Y07a 「七夕出前授業」の実施の試み

前原裕之、柴田一成、森谷友由希 (京都大学)

京都大学と京都府教育委員会では、連携事業の一環として7月7日の「七夕」にちなんで「七夕出前授業」を行なった。これは京都府教育委員会が府内の小・中・高等学校に希望を募り、京都大学の教授陣や関連研究者、大学院生等が京都府内の小・中・高等学校に行き、児童生徒を対象とした天文学や宇宙科学に関する授業を行なうというもので、七夕の日を含む1週間の7月5日～7月9日の期間中に府内の47校(小学校30校、中学校13校、高校4校)で出前授業を実施することができた。参加した児童生徒の総数は3468名だった。

京都府教育委員会と各実施校の協力を得て、参加した児童生徒の感想や実施校側からの感想・要望等についての集計を行なったところ、特に近隣に科学館などがない地方からは、天文学に触れるよい機会となった等の反響があった。本講演では、「七夕出前授業」実施の概要や参加者の感想等の集計結果を紹介する。